

# 熊本地震からの創造的復興への「軌跡」

～全国のNN技術職員の皆様へ 感謝の気持ちを込めて～

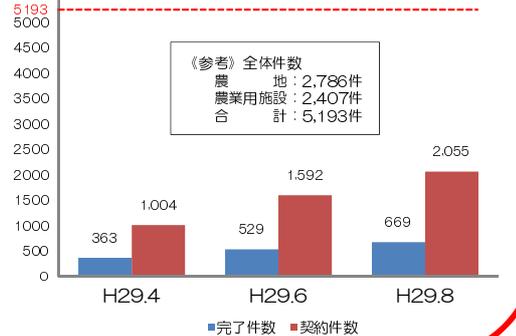
第2号 H29.9.29 発行

## 復旧進捗状況

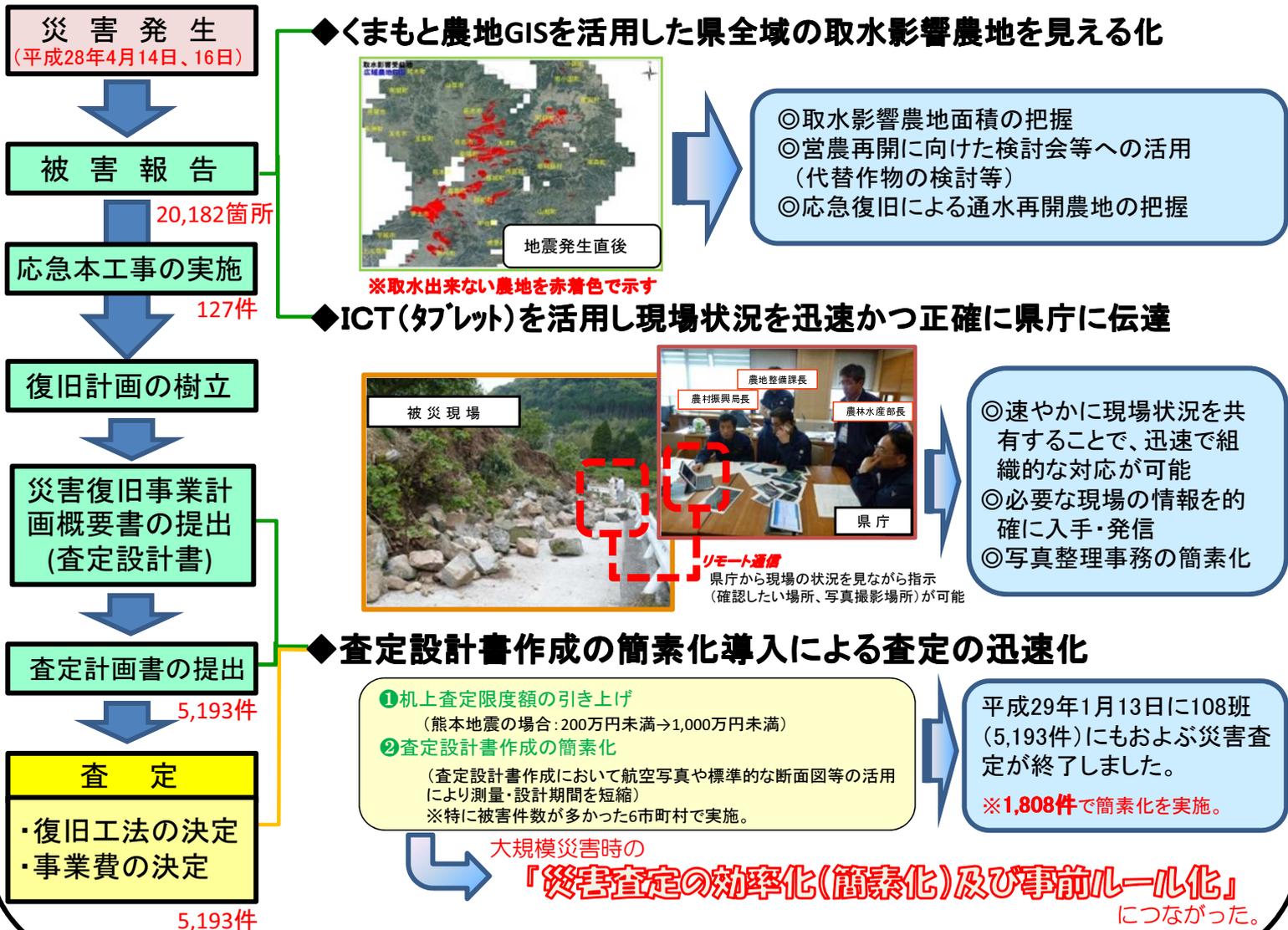
8月末現在の件数とその割合

	査定 件数	契約済み		工事完了	
		件数	契約率	件数	完了率
県営災害 計	186	100	53.8%	6	3.2%
農地	66	17	25.8%	0	0.0%
農業用施設	120	83	69.2%	6	5.0%
団体営災害 計	5,007	1,955	39.0%	663	13.2%
農地	2,720	951	35.0%	284	10.4%
農業用施設	2,287	1,004	43.9%	379	16.6%

災害復旧工事完了件数及び契約件数の推移  
8月末現在の件数（団体営+県営）



## ～復旧に向けたこれまでの取組と今後の課題～





## (2)市町村等の技術職員の不足

平成28年度災害件数5,193件の約96%(5,007件)を団体営災害復旧事業として市町村等が実施することとしている。しかし、元来、市町村は技術職員が少なく、公共土木と同一部所で農災を所管していることが多い。加えて、生活再建部局に技術職員を招集している市町村もあり、農災担当の技術職員が慢性的に不足している。

本県のこれまでの対応

### ①団体営農地等災害復旧事業を県が作業受託

※平成29年8月末時点

市町村名	件数	農地		受託事業費
		農地	農業用施設	
嘉島町	58	15	43	340百万円
益城町	24	0	24	1,625百万円
西原村	42	24	18	253百万円
南阿蘇村	4	0	4	621百万円
合計	128	39	89	2,839百万円

### ②市町村への技術者支援

- 計画変更調書作成
- 設計書作成
- 変更設計書作成 …etc

これらの業務については、県職員が各市町村へ出向き技術的支援を積極的に実施

### ※農地等災害復旧受託事業の概要

農地等災害復旧の事務対応が困難な市町村から県が受託し実施する事業。早期復旧を目指し、実施設計書作成、計画変更、発注、現場監督、変更設計書作成、検査等の事務を行う。

#### 【受託要件】

- ・1箇所の査定額が15,000千円を超える地区であること。
- ・ただし、道路・水路については70,000千円/箇所以上とする。(高度な技術を要する場合はこの限りでない)

## (3)県業務の増大

県営災害復旧事業に加え、団体営事業の受託、市町村支援業務及び今後更に増えてくる計画変更事務等を、全国から技術職員を派遣いただきながら、総力を挙げて実施しているものの、**マンパワーが不足**している状況。

福岡県からの派遣職員3名は福岡県を中心に甚大な被害が発生した九州北部豪雨からの復旧業務にあたるため、8月31日をもって本県の派遣業務から帰県されました。

熊本地震発災直後から延べ12名の技術職員を派遣いただきました福岡県に対し厚く御礼申し上げます。なお、10月1日より、大阪府から1名派遣いただくこととなりました。年度途中にもかかわらず、大阪府の対応に感謝申し上げます。

### 今後想定される課題

繰越手続き

#### ◆繰越及び事故繰越の増大

このまま不調・不落等により工事が遅れると、本年度中の工事完了が困難となり、繰越が発生する。繰越予算には未契約の予算も含まれることが想定され、営農再開を心待ちにする農家の皆さんへの不安が増大することとなる。このため、県や市町村は営農再開に向けた復旧・復興への歩みを止めないためにも、各課題への対策を早急に講じるとともに、次年度に向けた対策を検討する必要がある。いずれにしても、復旧・復興は**まだまだこれから**である。

#### ◆しゅん工確認検査件数の増大

団体営災害復旧事業(5,007件)に対し、県はしゅん工確認検査を実施する必要があるが、発生件数は過去3年平均(約250件)の**20倍**にも及ぶため、復旧工事の確認検査事務を実施するには、検査職員の確保も含めた検査体制の整備が必要である。

復旧工事完了

営農再開

これら多くの課題を解決し、平成30年度までに**営農再開100%**を目指す。

## ～派遣職員からのたより～

上益城地域振興局農地整備課に派遣いただいている5名の職員の担当業務等を紹介します。



- ①氏名
- ②担当業務
- ③今後派遣で熊本県に来る方へのコメント

①神里 昌直 主任技師《沖縄県》  
 ②災害復旧受託事業に関する業務  
 益城町支援に関する業務  
 ③東北での業務も経験しましたが、東日本大震災とはまた異なった対応と復興の歩み、他県との交流など貴重な経験ができ、将来の糧となります。

①木村 徹 参事《福岡県》  
 ②災害復旧受託事業に関する業務  
 嘉島町支援に関する業務  
 ③本年度復旧工事等が始まったばかり。今後も支援を必要としているところですのでよろしくお願いいたします。

①宮本 茂徳 参事《福岡県》  
 ②災害復旧受託事業に関する業務、山都町支援に関する業務  
 ③食・寝・遊ぶ(いろいろ)心配いりません!!

①石川 登章 参事《兵庫県》  
 ②県営災害復旧事業(大切畑ダム)に関する業務、益城町支援に関する業務  
 ③熊本県職員皆様の配慮により、ストレスなく復旧・復興という大切な仕事に携わることができます。  
 是非チャレンジして下さい!

①阪口 源次 参事《岐阜県》  
 ②災害復旧受託事業に関する業務  
 御船町、甲佐町支援に関する業務  
 ③職場環境は快適です。復旧・復興のため、能力を存分に発揮して下さい。

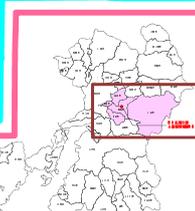
神里主任技師 (沖縄県)	石川参事 (兵庫県)
木村参事 (福岡県)	阪口参事 (岐阜県)
宮本参事 (福岡県)	

※表示は配席順によるもの。  
 また、職名は熊本県派遣時によるもの。

	災害件数	契約率	復旧率
御船町	609	19.21%	0.66%
嘉島町	126	36.51%	9.52%
益城町	231	36.80%	3.03%
甲佐町	162	43.21%	1.23%
山都町	1,791	13.23%	1.23%
合計	2,919	<b>19.01%</b>	<b>1.61%</b>

### 復旧の進捗状況

※団体営災害復旧事業件数に限る  
 ※H29.8末時点契約率及び復旧率(工事完了率)  
 ※なお、全て災害件数ベースで算出



### 上益城管内市町村位置図



☞次回は県央広域本部(熊本市)に派遣いただいている職員をご紹介します。

## ～広報～



## 『2017年ため池フォーラム in くまもと』

開催日時・場所：平成29年10月19日(木)  
 〔本会議〕 ホテル熊本テルサ テルサホール  
 〔交流会〕 ホテル熊本テルサ 3Fたい樹  
 平成29年10月20日(金)  
 〔現地見学会〕 県央コース(立岡自然公園、通潤橋)  
 県北コース(大切畑ダム、阿蘇大橋)

本会議：約500名、現地見学会：約200名の申込みがありました。

## 多数の申込みありがとうございました!!

なお、当日の状況等は次会号で紹介いたします。

問い合わせ先

熊本県 農林水産部 農村振興局 農村計画課 農村企画班

TEL : 096-333-2468

Mail : nousonkeikaku@pref.kumamoto.lg.jp